

**JASDAQ**

平成 27 年 10 月 6 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 サ ダ マ ツ  
 代表者の役職氏名 代表取締役 貞松 隆 弥  
 社 長  
 ( J A S D A Q ・ コード 2 7 3 6 )  
 問い合わせ先 取 締 役 磯 野 絃 一  
 経営戦略室長  
 電 話 番 号 0 3 - 5 7 6 8 - 9 9 5 7

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 10 月 10 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 連結業績予想の修正について

平成 27 年 8 月期 通期 連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当り 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,800	200	160	40	3.56
今回発表予想(B)	9,184	126	113	14	1.32
増減額 (B-A)	384	△74	△47	△26	
増減率(%)	4.4	△37.0	△29.4	△65.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 8 月期)	8,212	184	149	30	2.74

### 2. 連結業績予想修正の理由について

売上高につきましては、ブランド力向上への継続投資に加え、積極的な販促施策を実施した結果、予想を上回る見込みとなりました。特に主力商品である“Wish upon a star”の売上が前年比 174.5%と好調に推移し、売上高が前年比 111.8%まで拡大するなど増収に寄与しました。

一方、利益面につきましては、“Wish upon a star”をはじめとする高付加価値商品の構成比が拡大したものの、苦戦の続く地方店舗を中心としたセール施策の拡大が影響し、粗利率は想定値を下回りました。さらに、新規出店や店舗改装に伴う設備投資の拡大に加え、首都圏を中心に放映した TVCM や費用を積み増して対応した世界的ファッションディレクター「ニコラ・フォルミケッティ氏」とのコラボレーション企画等のプロモーション費用の投下が第 2 四半期 (上半期) に集中したため、上半期では大幅な営業損失を計上しました。

そのような状況を踏まえ、第 3 四半期以降 (下半期) は、当期におけるプロモーション投資が一巡す

る中、利益確保に向けた対応としてこれまでの投資効果獲得による売上高の維持・拡大と販売費を中心としたコストの抑制に努めました。

その結果、下半期の売上高が前年比 113.3%と上半期（前年比 110.4%）を上回ったことに加え、上場以来最高を記録するなど順調に推移したことから、下半期の営業利益は海外子会社の利益拡大による後押しもあり、上場来最高益を達成しました。

しかしながら、通期の予想数値に対しては、売上高は堅調に推移した一方で、利益面は上半期のプロモーション費用の積極投入による大幅な落ち込みを挽回するまでには至らず、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ予想を下回る見込みとなりました。

なお、当社は平成 23 年 10 月 13 日に平成 28 年 8 月期を最終年度とする「中期 5 ヶ年計画」を発表しておりますが、ここ数年の社内外の環境変化に伴い、さらに一段階高い企業ステージへの飛躍に向けた「新中期 5 ヶ年計画」を平成 27 年 10 月 16 日に発表する予定です。

以上